

緊急時における ICT を活用した学びの保障に関する文部科学大臣から民間事業者への協力依頼（概要）  
令和 3 年 1 月 7 日開催

新型コロナウイルス感染症については、引き続き 1 日の感染者数や重症者数も高い水準で推移しており、非常に厳しい状況。政府としては、感染対策、水際対策、医療体制、ワクチンの早期接種で強力な対策を講じるとともに、現在、1 都 3 県に対する緊急事態宣言の発令を検討。学校においても、感染の拡大に最大限の警戒をする必要があるが、現時点においては、児童生徒の発症や重症の割合は低い。地域一斉の臨時休業は、学校における新型コロナウイルス感染症のこれまでの感染状況や特性を考慮すれば、子供たちの健やかな学びや心身への影響の観点から、避けることが適切。

こうした状況を踏まえ、日頃より GIGA スクール構想の実現に向けた取組を支えていただいている民間事業者に対し、緊急時において ICT を活用して子供たちの学びを保障する観点から、学校現場に対する支援のご協力をお願いさせていただきたい。その際、緊急事態宣言の発令が検討されている 1 都 3 県については特段の配慮をお願いしたい。

- ▶ 「GIGA スクール構想」による児童の一人一台端末環境の整備に向けて、全国で 3 月末に向けて納品ピークを迎えることも踏まえ、各自治体の納期までに確実に納品できるよう、引き続きご尽力いただくとともに、例えば貸出しが必要な台数のみ先行納品を行うなど、今般のコロナ禍にあっても、子供たちの学びを保障するための支援に向けた取組を検討いただきたい。
- ▶ 児童生徒がやむを得ず学校に登校できないような事態にも対応できるよう、現時点において、ICT 環境が整っていない家庭や学校がある場合に、学校や設置者等の要請に応じて、端末・ルータ・カメラ・マイク等のオンライン学習に必要な機材の積極的な貸出しの検討をお願いしたい。その際、各企業における技術者が、ボランティアとしてオンライン学習のための ICT 機器の設置や運用等の支援の協力を行うことについてもご検討いただきたい。
- ▶ 深刻化するコロナ禍の下、ICT 環境整備や運用等に取り組まなければならない学校現場では、様々な戸惑いや支障が生じることも懸念。学校現場の厳しい状況にご理解いただき、特に、新型コロナウイルス感染症対策としての学校 ICT 活用の支援に関する相談窓口を設け、学校関係者や家庭等から寄せられた不安や悩みに対して助言や支援を行っていただけたら幸い。

なお、文部科学省からは、地方自治体をはじめとする学校設置者に対して、それぞれ責任を持って現在のコロナ禍に対応し、児童生徒の学びの保障に取り組むよう、依頼する。学校設置者と緊密に連携を取りながらご協力いただけたら、大変有難く思う。